

— 1 —
次の文章を読んで、後の問い（二—八）に答えよ。（三十点）

野は菊・萩咲きて、秋のけしき程、しめやかにおもしろき事はなし。心ある人は、歌こそ和国の風俗なれ。何によらず、
花車（注）の道こそ一興なれ。

奈良の都のひがし町に、しをらしく住みなして、明暮茶の湯に身をなし、興福寺の花の水をくませ、
かくれもなき（注）樂助（注）なり。

ある時、この里のこざかしき者ども、朝顔（注）の茶の湯を望みしに、かねがね日を約束して、万（注）に心を付けて、その朝七つよ
りこしらへ、この客を待つに、大方時分こそあれ、昼前に来て、案内（注）をいふ。

亭主腹立（注）して客を露路（注）に入れてから挑灯（注）をともしして、むかひに出づるに、客はまだ合点ゆかず、夜の足元（注）することをか
しけれ。あるじおもしろからねば、花入れ（注）に土つきたる芋の葉を生けて見すれども、その通りなり。とかく心得ぬ人（注）には、心
得あるべし。亭主も客も、心ひとつの数寄人（注）にあらずしては、たのしみも欠くるなり。

むかし功者（注）なる、茶の湯を出だされしに、庭の掃除もなく、梢（注）の秋のけしきをそのままにしておかれしに、客もはや心を
付けて、いかさまめづらしき道具出づべきとおもふに、案のごとく掛物（注）に、「八重葎（注）しげれる宿」の古歌を掛けられける。

またある人に、漢の茶の湯を望みしに、諸道具、皆唐物をかざられしに、掛物（注）ばかり、安倍仲麿（注）が詠みし、「天の原（注）ふり
さけ見れば春日なる三笠の山に出でし月かも」の歌を掛けられたり。いづれも感ずるに、「この歌は、仲麿（注）、唐土（注）から古里を
おもって詠みし歌なり」と、しばらく亭主の作の程をながめけるとなり。「客もかかる人こそ、この道をすかるるかひあ
れ」と、ある人の語りし。

（『西鶴諸国ばなし』）

注1 花車……みやびやかな芸術

注2 かくれもなき楽助……名の知れた楽人

注3 朝顔の茶の湯……千利休が、茶室の床の間に朝顔を一輪のみ生けた故事にもとづく茶の湯

注4 朝七つ……午前四時頃

注5 露路……茶室にいたるまでの庭

注6 八重葎しげれる宿……八重葎しげれる宿のさびしきに人こそ見えね秋は来にけり〔拾遺和歌集〕「小倉百人一首」

問一 傍線(イ)・(キ)・(コ)・(サ)の本文中での意味として最も適當なものを下記の1―4の中からそれぞれ一つ選び、その番号を

記入せよ。

(イ)「案内」 1 通知 2 内情 3 説明 4 取次

(キ)「いかさま」 1 もしや 2 かならずや 3 ぜひとも 4 なるほど

(コ)「ながめける」 1 ほんやりと見た 2 鑑賞した 3 口ずさんだ 4 議論した

(サ)「かひあれ」 1 価値があるのだ 2 効果をもたせよ 3 有意義である 4 理由があるのだ

問二 傍線(エ)「すれ」の〔A〕文法的説明と、〔B〕活用形を下記の1―4の中からそれぞれ一つ選び、その番号を記入せよ。

A 1 使役の助動詞 2 尊敬の助動詞 3 サ行変格活用 of 動詞 4 動詞の一部

B 1 未然形 2 連用形 3 連体形 4 已然形

問三 傍線(オ)「心得ぬ人」に該当する人物を、本文中の波線1―4の中から一つ選び、その番号を記入せよ。

問四 傍線(ア)の意味として最も適當なものを次の1―4の中から一つ選び、その番号を記入せよ。

1 だいたい物事にはそれに見合った時間があるものだが

2 だいたいの到着時間はあらかじめ連絡があったのだが

3 そもそも茶の湯には決まった時間などないが

4 じゅうぶんに時間の余裕を持っていたのだが

問五 傍線(ウ)「花入れに土つきたる芋の葉を生け」た亭主の意図の説明として、最も適当なものを次の1―4の中から一つ

選び、その番号を記入せよ。

- 1 昼過ぎに訪れた客に対して、その時間に合った花を生けてもてなすというはからい。
- 2 朝に来るべきなのに昼に来た客に対し、朝顔に似た芋の葉を土が付いたまま生けるといふあてこすり。
- 3 客は約束の時間に遅れて来たが、気にせずによりあわせの物で歓待しようという心意気。
- 4 昼なのに提灯ちようちんをともしたのと同様に、昼には合わない芋の葉を生けるといふ皮肉。

問六 本文の主旨として最も適当なものを次の1―4の中から一つ選び、その番号を記入せよ。

- 1 約束を守らず主人を待たせてばかりいる客は、茶の湯の趣を台無しにし、楽しみを半減させる。
- 2 茶の湯は、芋の葉を生けたり和歌を掛けるなど、その場の状況に応じた即興性が大切である。
- 3 客が主人の心配りを理解し、主人と客の心が通じ合ってこそ、茶の湯の楽しみが味わえる。
- 4 茶の湯には、無礼な客に対して立腹する心の狭い主人もいれば、どんな客も丁寧^{ていねい}に扱う主人もいる。

問七 傍線(ク)「ふりさけ見れば」を現代語に訳して記入せよ。

問八 傍線(カ)「数寄人」・(ケ)「唐土」の読み方をひらがな(現代かなづかい)で記入せよ。